

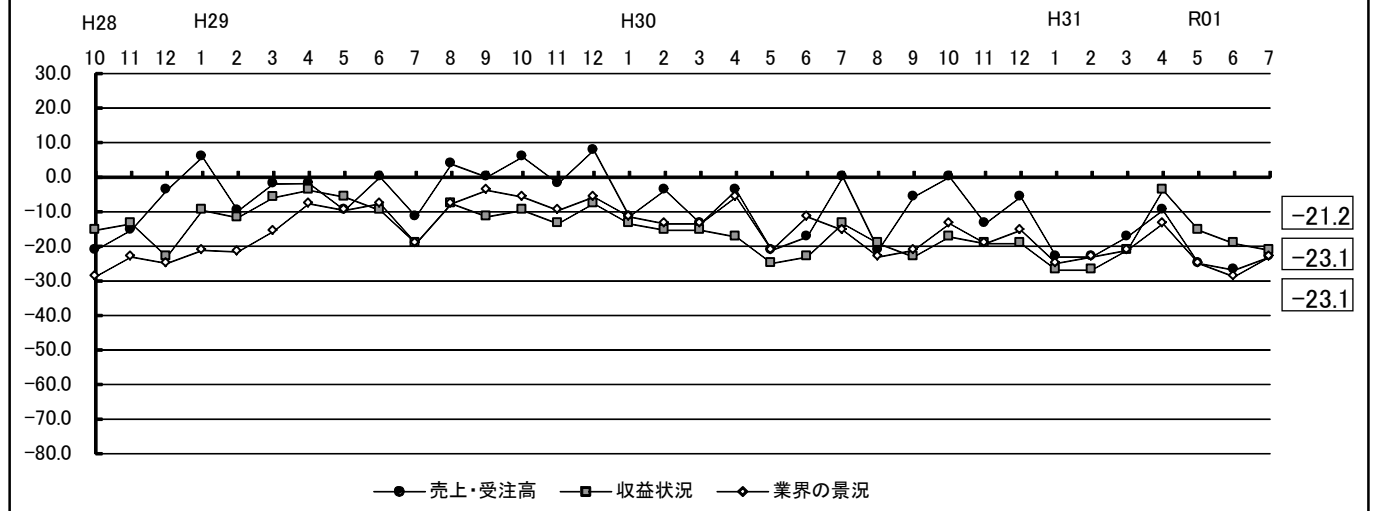
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「販売価格」「業界の景況」の3指標が上昇し、「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。
- 主要3指標では、「売上高」及び「業界の景況」が前月より上昇し、いずれも-23.1ポイント、「収益状況」が前月より下降し、-21.2ポイントであった。
- 7月は例年になく長引いた天候不順や継続する原材料・燃料コスト等の上昇により全体的に業況は停滞したが、消費税増税前の駆け込み需要や梅雨明け前あたりからの急な動き出し等により好転した業種もあり、若干の売上高増加及び景況感回復に繋がった。一方、毎年10月に行われる最低賃金額の引き上げを見据え、現状でさえ高騰する人件費による経営の圧迫は厳しい状況にあり、これ以上の賃上げには耐えられないのが実情であるとの声も聞かれた。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-23.1	+3.8	-22.9	+0.2
収益状況	-21.2	-2.0	-25.2	-0.2
業界の景況	-23.1	+5.7	-28.4	-0.1

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より3.8ポイント上昇し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント上昇し-22.9ポイントとなった。

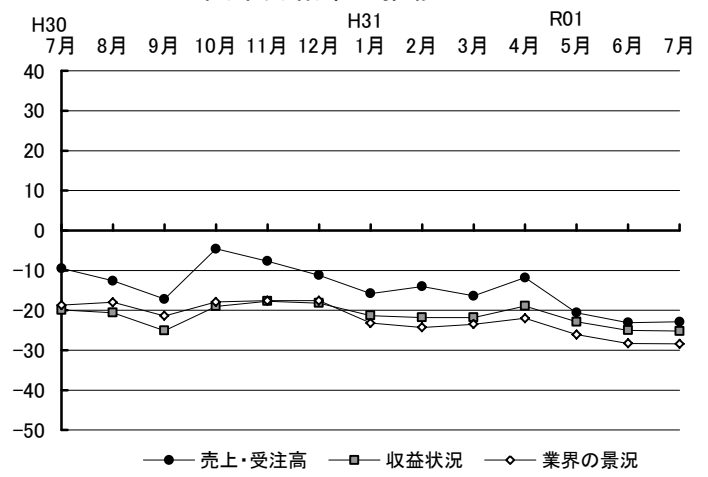
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より2.0ポイント下降し、-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント下降し-25.2ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.7ポイント上昇し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント下降し-28.4ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「販売価格」「業界の景況」の3指標が上昇し、「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」及び「業界の景況」が前月より上昇し、いずれも-23.1ポイント、「収益状況」が前月より下降し、-21.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、2業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。

7月は例年になく長引いた天候不順や継続する原材料・燃料コスト等の上昇により全体的に業況は停滞したが、消費税増税前の駆け込み需要や梅雨明け前あたりからの急な動き出し等により好転した業種もあり、若干の売上高増加及び景況感回復に繋がった。一方、毎年10月に行われる最低賃金額の引き上げを見据え、現状でさえ高騰する人件費による経営の圧迫は厳しい状況にあり、これ以上の賃上げには耐えられないのが実情であるとの声も聞かれた。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	×	○	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	×	×	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	○

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	-50.0	50.0	-25.0	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	25.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
製造業	-16.0	-24.0	8.0	-4.0	-24.0	-12.0	-4.0	0.0	-28.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-85.7	-28.6	0.0	-14.3	-57.1	-42.9		-14.3	-57.1
サービス業	-33.3		16.7	-16.7	-16.7	0.0		-33.3	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	-29.6	-10.0	3.7	-7.4	-18.5	-11.1	-11.1	-18.5	
全体	-23.1	-20.0	5.8	-5.8	-21.2	-11.5	-4.0	-5.8	-23.1

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	前月 比
売上高	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	3.8
在庫数量	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	0.0
販売価格	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	5.8
取引条件	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-3.9
収益状況	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-2.0
資金繰り	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-3.8
設備操業度	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	0.0
雇用人員	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-2.0
業界の景況	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	5.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-50.0	25.0	0.0	-25.0	-50.0	-50.0	-25.0	25.0	25.0
木材・木製品	-25.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
製造業	0.0	-4.0	8.0	-4.0	-8.0	-4.0	0.0	4.0	8.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-14.3	0.0
サービス業	33.4		16.7	-16.7	0.0	-16.7		-16.6	-16.6
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	50.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4		10.0	3.7	-3.7	3.7		-3.7	-7.4
全体	3.8	0.0	5.8	-3.9	-2.0	-3.8	0.0	-2.0	5.7

特記事項

情報連絡員報告（令和元年7月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	7月は天候不順であったが、昨年のような猛暑ではなかったため、幾分動いたように感じる。しかし、全体的に原材料が高騰し、厳しい状況である。
縫製業	秋物商品の注文が少なく、苦戦が続いている。
染色整理業	一部で増加又は減少の変化がみられるものの、全体的には特段の変化はない。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	直近の好調な動きから業績も好転することを期待していたが、天候不順・社会不安等を押され、一転して業況は停滞した。秋物の企画は縮小されているので、9月以降の動きに期待している。
建具製造業	消費税増税前の駆け込み需要が多少あるのか、昨夏より動きや受注が良いという組合員がみられる。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向けは修理などの影響で減少傾向にあり、本格的な荷動きは9月近くになると予想される。建材関係は生コンが首都圏で動きが鈍くなっているほか、土質関係でも遅れている状況である。肥料関係についてはほぼ前年並みで推移している。全体的には減少傾向にあり、出荷増が見込めるのは鉄鋼・建材ともに9月近くになる模様である。
砕石製造業	第1四半期（4～6月）の出荷量は、去年同期比で9.3%減少しており、低調であった。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況がやや悪化した。しかし、企業間格差があり、業界全体で一様に収益状況悪化というわけではない。業界全般で景況悪化懸念があるため、今後の動向を注視しながら対応していく必要がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	6月までの状況が非常に悪かったため、急に好転したことには驚いている。想像ではあるが、在庫を最小まで減らした結果慌てて増産に踏み切ったように思う。そのため、この好転がいつまで続くか不安である。消費税増税前までは増産体制が続くと思われるが、10月以降は受注減を覚悟しないとイケない状況である。
各種商品卸売業	全体としては大きな業況変化はない。昨年、組合創立50周年を迎え、青年部組織「懇話会」において、組合の今後の事業展開等についての提言がまとめられた。これを受け、組合では役員会において「団地プライドの醸成のために」をテーマに具体的検討を開始し、組合の活性化を図っている。

食肉小売業	商品の販売が減少しているが、仕入単価が安くなっているため粗利は増加した。
各種商品小売業	前月に引続き大変厳しい月であった。中小企業・大型店ともに景況は悪化しており、早急な景気対策が求められる。
各種商品小売業	例年に比べて雨の日が多かったため、アパレル夏物をはじめとして夏需要品の売れ行きが全体的に非常に鈍かった。お盆が最長9連休という曜日まわりであることから、8月前半が勝負になると予想される。夏の最終クリアランスセールで梅雨の影響分を巻き返したい。
花・植木小売業	この時期は花の傷みが早いため、店頭での動きが鈍く、売上は上がらない。結婚式も7、8月はオフシーズンのため、式数も減少する。葬儀件数も例年に比べ少なく、売上、利益ともに厳しい状況が続いた。8月はお盆の忙しい時期を迎えるので、産地情報を早めに収集して仕入、販売計画を考えたい。
理容業	組合脱退者数が少し落ち着いてきており、先月と比較しそれほどの減少はなかった。このままの状態が続くことを願っている。
自動車整備業	売掛金の回収率が悪化傾向にある。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率は大型連休後から低下している。宴会に関しては例年通りであった。お弁当やケータリングなどが前年対比で大きく減少した。飲食店利用に関しては大型連休明けからの利用控えがそのまま続き、非常に鈍い動きであった。大型連休中も客足が鈍ったが、その後の落ち込みの要因については未だ把握できていない。7月後半からは例年の動きに戻ってきたように感じる。
ビルメンテナンス業	公園除草業務の受注が増え、収益が好転した。顧客のコスト削減要求が強まっており、ビルメンテナンス業の事業高は若干減少している。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは12%減、敷物用ラベルは14%減、壁装用ラベルは16%減であった。
一般貨物自動車運送業	消費税増税前の需要増を期待していたが、売上、収益は減少傾向であった。燃料コスト高、人件費上昇等の影響を受け、経常損益の水準は落ち込みが懸念される。
貨物軽自動車運送業	低調なスタートであったが、梅雨明け前くらいから動きが急に出てきた。食品、自動車部品、建築資材など幅広く動きがあり、月末まで配車依頼が多くあった。組合事業内容説明会にも開業意欲のある方の来所が多数あり、2019年は6名の開業に至っている。
一般乗用旅客自動車運送業	多少売上が伸びた。特定地域指定による台数制限等の適正化の好影響があったものと思われる。
大谷石採石業	やや売上高が減少した。10月に美術館で大谷石の展示が予定されており、大谷石のPRになることを期待している。